

当院姉妹施設

玄々堂木更津クリニック竣工

昨年12月より建設中であった、当院の姉妹施設である玄々堂木更津クリニック(茅野嗣雄院長・木更津市高柳4737番地)がこのほど完成し、9月9日その竣工式、披露宴が行われた。

披露宴では茅野院長が「きぼう」と題してクリニック壁面に描かれた壁画の紹介とこれからの抱負を語った。すでに9月1日より透析施設が稼働しており、木更津、袖ヶ浦地域から21名の患者さんが通院治療をしている。また、17日からは外来診療もスタートしている。

院内研究発表会開催

5月20日、大沢廉也委員長のもと第4回院内研究発表会が千成ホテルに於いて開催された。

演題は栄養科・保育所・看護部2題・薬局・放射線科・医局の計7題、2群に分けて行われ、座長は、二瓶・茅野・大神の各氏が担当した。

又、国立療養所多摩全生園園長村上国男先生により「終末患者のケアを中心に」と題する特別講演が行われた。演題の内容も日常の業務に即した内容で活発な意見交換・質疑応答がなされ大盛況のうちに終了した。

介護教室開催

5月15日、君津訪問看護ステーション主催による第3回介護教室が、ノバ・メディックス介護用品展示場にて開催された。

今回は、「車椅子の上手な使い方」もあなたも車椅子に乗ってみませんか」と題し、福寿草の会(君津市の老後を考える会)会員の方々を対象に、実際に車椅子に乗り、介助を行い、病院近くの自動販売機までジュースを買いに行き体験学習が行われた。

糖尿病教室開催

6月19日、第11回糖尿病教室がノバ・メディックス介護用品展示場において開催された。

今回は、平成4年より糖尿病外来へ通院を始めた方を対象に、「成人型糖尿病の治療法と予後」と題し、帝京大学医学部附属市原病院第3内科荻野良郎先生に講演していただいた。続いて城之内管理栄養士が糖尿病患者さんの外食について話した。

腎臓病教室開催

5月22日、ノバ・メディックス介護用品展示場に於いて当院腎臓病内科受診中の患者

新たな対策方法も見いだせるようになりまます。これまでも患者さんのお話を聴き、十分な看護をするように努めてきましたが、その不十分さを痛感する限りです。

防災訓練行わる

9月1日の防災の日にちなみ当院でも9月2日防災訓練が行われた。

今回の訓練は震度8の東海沖地震で栄養科からの出火を想定。災害時の「備えあれば憂いなし」という心構えはあっても、イザというときにはパニックに陥ってしまうであろう。実際に体をつかっての防災訓練がとっさの時に役立つように参加者一同真剣な表情であった。

9月1日、開院しまして半月があつという間に過ぎてしまいました。ここ玄々堂木更津クリニックは、周囲は田園に囲まれた、環境の良いのどかな場所にあります。院内は『病院のイメージを突破したユニークな外観』の眩しさに比べ、落ち着いた造り、広いスペース、そして室内には常にクラシックが流れ全体的に和やかな雰囲気保たれています。このような環境の中では患者さん心身共に安心して透析を受けられるのではと自負しています。スタッフも君津病院260



鋸山ロープウェイ

名の職員の中から年齢、容姿、気配り等の規制を強いられた中から選び抜かれた優秀なメンバーです。因みに平均年齢38才、既婚率7割強。もちろん独身の美男、美女も若干

「開院によせて、心あたたかにゼロからの出発」
玄々堂木更津クリニック
婦長 佐久間幸子



取り揃えられています。更に透析室にはお若くて、非常に熱心な中尾先生と中川先生が勤務して下さい、スタッフからも患者さんからも全面的に信頼されています。

患者さんは全体で21名とまだ少ないですがその分患者さん一人一人と接する機会が多くなりまます。患者さんの抱えている問題、自己管理の苦勞などその状況が良く判かり、

「安全に・丁寧に・笑顔で」をモットーに地域の方々の期待に応えられるような看護を提供できるようにスタッフ一同研鑽を積み頑張る決意ですので宜しくお願ひ申し上げます。

また、透析室の岡崎主任看護婦から「導入期の注意点」を、そして城之内管理栄養士から「透析食とはなにか?」の説明と試食会が行われた。参加者80名を数える盛況で、活発な質疑応答が行われた。

疲労度DX
グロンサンDX
中外製薬
滋養強壮、肉体疲労時の栄養補給に
グロンサンDX
価格される医薬品づくりをめざす
CHUGAI